

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年8月2日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、私から補足説明をさせていただきます。

説明を開始する前に、来週、再来週、規制委員会の定例会がないのは、皆さん御存じのとおりでございまして、来週と再来週のこの定例ブリーフィングもお休みさせていただきます。

その結果、定例ブリーフィング、次回は8月20日火曜日となります。そこまでのいろいろな予定等を御説明させていただきます。

まず、お手元の広報資料の「検討チームの会合、会見などについて」で、2ページを御覧ください。

まず、8月7日水曜日、上から2つ目となります。（4）第11回震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム。こちらは7月8日の検討チームにおきまして、報告書の表現等に関して少し積み残しがあり、その修正などに関しまして、今回、改めて検討チームの構成員にお集まりいただき、その内容について、最終的な内容について確認をいただくものです。

続きまして、8月9日金曜日、（5）第296回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは事業者、日本原子燃料株式会社から、出戸西方断層の追加調査の結果について説明を受けるものです。

続きまして、（6）第755回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは東北電力・女川原子力発電所2号機の設置変更許可について、6月30日の会合のコメント回答を受けるとともに、火山のまとめ資料も受け取るものであります。

続きまして、（7）第9回量子科学技術研究開発機構部会。こちらの対応は大熊放射線防護企画課長となります。これは7月19日に開かれた同部会でのヒアリング結果を踏まえまして、量子科学技術研究開発機構の平成30年度の業務実績評価を取りまとめるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、3ページ一番上から行きます。

8月20日火曜日、（8）第18回原子力発電所の高経年化技術評価等に係る審査会合。こ

の対応は山形緊急事態対策監となります。これは東京電力・柏崎刈羽原子力発電所5号機の保安規定変更認可につきまして、運転開始から30年ということで、高経年化技術評価の説明を受けるものであります。

続きまして、(9) 第756回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは、少し早足で申させていただきますが、伊方3号機、玄海3・4号機、川内1・2号機、高浜1・2・3・4号機、美浜3号機、大飯3・4号機の有毒ガス設備に係る設置変更許可につきまして、伊方3号機に関しましては、7月30日の会合のコメント回答を受けるもの、また、それ以外の原子力発電所に関しては、各プラントのバックフィット対応の説明を受けるものです。

続きまして、(11) 第17回会合検査制度の見直しに関する検討チーム。こちらは、まず、議題1と議題2がございますが、まず議題1で、新検査制度に向けた規定類の整理や試運用の状況といった全体の進捗状況について説明をいたします。

続いて、議題2で、7月31日の第20回原子力規制委員会に第一段階となる政令等を報告しましたが、次の第二段階となる原子力規制委員会規則、審査基準、運用ガイドなどの改正案について、概要を事業者の説明するものです。

続きまして、4ページ「委員の現地調査、視察等について」です。

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)原子力科学研究所の現地調査、こちらは8月7日水曜日9時15分から行われます。これは山中委員がJAEA・原子力科学研究所の試験研究炉等に関しまして、現場を確認するものです。

続きまして、(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)幌延深地層研究センターの現地視察、これは8月8日木曜日9時から行われます。更田委員長がJAEA・幌延深地層研究センターにおいて、地層処分に関する研究の状況を視察されるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。フクオカさん。

○記者 日本経済新聞のフクオカと申します。

8月9日の(6)の女川2号の審査会合の件なのですが、7月26日金曜日の審査会合でもいろいろ指摘事項があったかと思うのですが、それに対するコメント回答というのは、来週の9日にはまだ予定されていないということでよろしいのでしょうか。

○児嶋総務課長 今回は地盤と斜面安定性の前回のコメント回答で、火山のまとめに関する資料というふう聞いております。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。カワダさん。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

震源を特定せずの会合なのですけれども、これは前回のときにメールで確認しましたかと言っていたことを、公開の会合でやりますという、そういう中身でしょうか。

○児嶋総務課長 そのとおりです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—